

3-2 みやぎラムサールトライアングル魅力発信事業

事業目的

ラムサールトライアングルと呼ばれている伊豆沼・内沼、蕪栗沼・周辺水田、化女沼の3つのラムサール条約湿地の魅力を、国内だけでなく海外にも発信し、湿地の保護及び地域の活性化につなげられるよう、3つの湿地を地域の財産として活用するウィズユースを推進する取組を実施します。

事業効果

CO2削減効果	—
その他	イベント参加人数 30人

事業内容

平成29年度事業費 408千円

1 活用促進検討会(協議会)の開催

地元自治体や関係者による協議会を設立し、ウィズユースの内容や体制整備について協議します。

2 おもてなしマップ作成

多言語版配布用作成・改定
日本語版配布用改訂・増刷

3 ウィズユース体験

湿地周辺のウィズユースを考えるイベント等を開催します。

➢ 3つのラムサール条約湿地は、直径10km圏内の三角形の角に位置していることから、豊かな自然が残されている象徴として、地域の人に「ラムサールトライアングル」と呼ばれています。



現状



3つのラムサール条約湿地の名前は知っていても、どこにあるのか、わからない人が多い。
そのため、ウィズユースの取り組みも広がっていない。

税導入後のイメージ



ラムサールトライアングルマップの活用や、情報発信により、より多くの県民がラムサールトライアングルを訪れ、湿地の賢明な利用(ウィズユース)に興味を持ってもらい、取り組みが広がっていく。